

## 窓口での受付時間を延長します

【詳細】 行政監理室 ☎32-6169

窓口の混雑緩和と仕事などで日中窓口に来られない方のため、住所変更などの諸手続きができるように、各課各窓口の受付時間（平日）を延長します。また、3月31日(日)にも下記の時間帯に窓口業務を行います

**実施期間** 3月31日(日)～4月3日(水)

**延長時間** 18時30分まで（3月31日(日)のみ9時～15時）

### 業務を行う窓口と主な内容

内容によっては当日対応できない場合があります。詳細は各課へお問い合わせください

●住民課 ☎32-6294（1階13～17番窓口）	戸籍、住所変更の届出、証明発行に関する手続き
●国保課 ☎32-6418（1階20～22番窓口）	国保の加入、喪失、高額療養費に関する手続き
●医療支援課 ☎32-6416（1階6番窓口）	障がい者、ひとり親、乳幼児、老人（65～69歳の入院）の医療助成に関する手続き
●高齢者医療課 ☎32-6414（1階5番窓口）	後期高齢者医療に関する手続き
●社会福祉課 ☎32-6356（1階2番窓口）	障害者手帳に関する手続き
●健康支援課 ☎32-6411（2階）	母子手帳、予防接種、がん検診に関する手続き
●介護福祉課 ☎32-6340（1階4番窓口）	介護保険、高齢者向けサービスに関する手続き
●子育て支援課 ☎32-6369（1階7・8番窓口）	児童手当、児童扶養手当、保育園に関する手続き
●税制課 ☎32-6266（2階5番窓口）	各種税証明に関する手続き
●学校教育課 ☎32-6742（第2庁舎1階）	転入学に関する手続き
●市民税課 ☎32-6253（2階3・4番窓口）	市・道民税、軽自動車税に関する手続き
●資産税課 ☎32-6267（2階6～8番窓口）	土地、家屋に関する手続き
●納税課 ☎32-6274（2階2番窓口）	納税相談
●生活支援室 ☎32-6380（2階10・11番窓口）	生活保護に関する相談
●住宅管理課 ☎32-6316（4階）	市営住宅に関する手続き
●上下水道部営業課 ☎32-6679（3階）	上下水道料金、水道使用・中止に関する手続き

### ⑤ 印鑑登録を申請するときは

#### ■本人が窓口に来られる場合

#### ■本人確認書類を持参できる方

- 1種類でよい本人確認書類＝運転免許証、パスポートなど写真、割り印のある官公署発行の各種免許証・許可証
- 2種類必要な本人確認書類＝健康保険証、公的年金手帳、公的年金証書、生活保護手帳、市内路線バス高齢者優待乗車証、生年月日が記載され写真が貼ってあり、割り印のある学生証・会員証・社員証など

#### ■本人確認書類を持参できない方

- 申請後に本人確認のために文書（回答書）を郵送します。この回答書を窓口へ提出します。この場合、登録には日数がかかります
- 本市で印鑑登録をしている方を保証人として登録できます。この場合、保証人の署名と登録印の押印が必要です

#### ■本人が窓口に来られない場合

代理人が、委任状（本人が窓口に来れない理由を明記したもの）、登録する印鑑、代理人の印鑑および本人確認書類を持参し申請。申請後、本人あて

に印鑑登録の意思確認の文書を送付します。この文書と登録する印鑑、代理人の印鑑および本人確認書類を窓口へ提出してください。登録には日数がかかります ※委任状は住民課、勇払・のぞみ出張所、各証明取扱所にあります

登録できる方 15歳以上の方（成年被後見人を除く）

登録場所 住民課、勇払・のぞみ出張所

登録手数料 300円

張所

## 実践躬行

苦小牧市長 岩倉博文

スマイルパワー 輝くまちへ

とまこまいスケートまつりの協賛イベントである小学生アイスホッケー大会が今年も白鳥アリーナで開催され、2月10日に行われた決勝戦を観戦し、閉会式に参加させていただきました。

小学生アイスホッケーは男女混合で、現在、少ないながらも全てのチームに女子選手が参加しています。今大会でも、男子に負けない視野の広い守備や粘り強いプレーが光り、勝利へ貢献する女子選手の活躍が目立ちました。

ちょうど同日スロバキアでは、苦小牧出身の選手9名を含む日本女子アイスホッケーチームが、ソチ冬季五輪最終予選を戦いました。スピードを生かしたプレーと厚いチームワークで、体格で上回るデンマーク選手をもとませず、見事に勝利を収めました。4大会ぶりの出場権獲得という偉業は、市民のみならず日本のみなさんに元気と勇気を与えてくれました。

今年、市では誰もが平等なパートナーとして認め合い、生き生きと暮らせるまち・苦小牧のため、男女平等参画を推進するまちから一歩前進し、男女

平等参画都市として宣言します。女性の躍進が目覚ましいスポーツ界のように、これからの女性ならではの能力が発揮できるまちづくりを進めてまいります。

